

ペコリーヌの耳かき

ささみの照り焼き

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ペコリーヌに耳かきしてもらっただけ。

目次

ペコリーヌの耳かき

ふう、お疲れ様でした！ これにて討伐完了、ですね☆
って、あらら。あなた、モンスターの体液でベトベトでやばいですよ？

スライム型のモンスターだったから、そこら中に飛び散っちゃったんですね。

ほらほら、こつち来てください。拭いてあげちゃいますから！

ごしごし……ごし、ごし……ふふふ♪ いいこ、いいこ♪

髪の毛に付いたのを拭いて、それからお顔も……つと。服にはあんまり着いてなかったのは、不幸中の幸いですかね？

今は遠征中で街からも離れてますし、いくら魔物を討伐し終わったとはいえ、裸になる訳にもいきませんしね。

はい、おしまいです。うんうん、すっかり元のかっこいいお顔に戻っちゃいました☆

それじゃあ、魔物も討伐し終わったことですし、少し休憩したら街に……うん？ どうしたんですか？

お耳が痒い……？ うーんと、ちよつと見せてくださいね？

………うーん？ もしかしたら、さっきの体液が耳の奥まで入っちゃったのかもしれないね？

そのままにしとくのはちよつと怖いですから、今ここで取っちゃいましょうか。

こういう時は……あ、ありました！

この木の枝、一見普通の枝なんですけど、こうやって先端の方を解すように揉むと……はい、即席耳かき棒の完成です♪

ほら、私世界を旅してきたじゃないですか？

その旅程で耳が痒くなった時なんかは、この枝を使ってたんです。木にしては柔らかいですから、耳の中を傷つけることもありません♪

それでは！ レジャーシートを引いて、荷物もまとめて……はい、お膝どうぞ☆

おお、思ったより躊躇いなく来ましたね？

あなたぐらいの年頃だと、膝枕は照れくさくて躊躇したりするもの
だと思ってたんですけど？

ふんふん……なるほど、コッコロちゃんによくしてもらってるんで
すね？

ちよつと羨ましいですね……あなたじゃなくて、コッコロちゃん
が。

あ、えつと、なんでもないですよ？ はい、なんでも。

……そ、それじゃあ、まずは右のお耳、失礼しますね？

カリ、カリ。カリ……カリ……ん、やつぱりありました♪ まずは
耳の浅い所を一通りお掃除しちやいますから、動かないでくださいね
？

カリ、カリ……コシヨ、コシヨ……カリカリ、と。

んー、浅い所は一通り取れましたかね？ どうですか？ まだ右の
方も痒いですか？

まだ痒い……となると、奥の方にもあるのかもしれないね。ゆっ
くりやっていきますから、動かないでくださいね？

カリ、カリ……コシヨ、コシヨ……カリカリ……コシヨコシヨ
……。

ふふふつ☆ くすぐったいですか？ がまんがまん、ですよ？

カリカリカリ……コシヨコシヨ、コシヨコシヨ……。

……うん、全部取れましたかね？ 右の痒みは治まりましたか？
うん、それなら大丈夫そうですね。

あ、まだ動かないでください。木の棒でやってるので、細かい木く
ずと一緒に残った耳垢も吹き飛ばしちゃうので。

どうやって？ んふふ。こうやって、ですよ☆

ふっつ。ふっ、ふっ……ふうっつ。

あははっ、お耳が真っ赤です♪

そんなにくすぐったかったですか？ ……あれ、もしかしてお耳

ふーはコッコロちゃんにもされたことがなかった、とか……？

……そ、そうなんです。あなたの初めて、私が奪っちゃいました
ねっ☆

……な、なくんちやつてっ。

も、もう、あなたまで照れないでくださいよう。

つ、次は左の耳をお掃除しましょうっ。ほら、お膝の上でいいので
ゴロンと反対を向いてくれますか？

はい、ごろくん。

……うん、ちょうどお耳が見えやすい位置に来ました。

あなたは大丈夫ですか？ 首が痛かったりしませんか？ ……は
い、大丈夫そうなら、このまま始めちゃいますね？

それでは、失礼して……。

コシヨ、コシヨ……カリカリっど……。

さつき右耳をやったので、何となくコツが掴めちゃいました☆ 効
率よくお掃除できそうです♪

カリ、カリ……カリカリ、カリカリカリく……。

コシヨ、コシヨ……コシヨコシヨコシヨく……。

うん、いい感じですね。それじゃあ、奥の方もやっちゃいますね？
うくん……こつちの方は右耳よりも奥にあるんですかね？ あん
まり見えないような……あつ、ありましたっ♪

カリ、カリ……カリ、カリ……ん、もうちよつと強く、ですか？

じゃあ、……ゴシ、ゴシ……ゴシ、ゴシ……このくらいですかね？

はい、分かりました♪

ゴシゴシ、ゴシ、ゴシ……コシヨ、コシヨ、ゴシ、ゴシ……。

コシヨコシヨく……ゴシゴシ……コシヨコシヨコシヨく……ゴシ、

ゴシツと……。

よし、これで大丈夫そうですね？ はい、それじゃあ起き上がって
も大丈夫ですよ♪

……？ どうしたんですか？

えっ？ お、お耳ふくはしないのかって……さ、ささ、された
いんですか？

……しよ、しょうがないですね☆ あなたがそんなにオネダリする
なら、やってあげちゃいます☆

い、いきますよ？

……ふっ……ふっ……。

ふっ、ふっ、ふっ……ふうっ……。

は、はい。終しまいですっ。

お耳の痒みは治まりましたか？

はい、それなら良かったですっ☆

それじゃあランドソルに帰りましょうか！ あっ、そうだ、今日の晩ご飯は何にしますか？

今日はコツコロちゃんもキヤルちゃんも居ないので、特別にあなたの好きな物を作ってあげちゃいますよ☆

……へ？ み、耳かき？

あの、今日の晩ご飯のお話なんですけど……？

そ、そんなに気に入っちゃったんですか？

……うくん。まあ、ご飯を食べ終わった後になら、ちよつとだけやってあげますけど。

あ、でも今日はもう耳かきしてますから、ホントにちよつとだけですよ？

……ふふっ。変な人ですね♪

それはそうと、晩ご飯のリクエストはありますか？

お肉？ お魚？ それとも魔物料理ですか？ あなたのためなら、

私、なんでも作ってあげちゃいますよ？